

編集後記

キャンパス情報ネットワーク“HIROIN”がスタートした。文京町地区のみならず本町地区を含めて、全学が光ネットワークとイーサネットによって結ばれた。RS232Cによる1200bpsの通信回線速度に代わってEthernetの10Mbpsの高速通信を誰もが利用できる環境が整備された。センターのワークステーション環境の整備も進められ、ネットワークを通じて、ワークステーションを効率的に利用できるようになった。まさに、マルチメディアに対応できる環境が出来上がりました。

ネットワーク整備専門委員会および拡大ネットワーク委員会のご協力を得て、新たに設置されたキャンパス情報ネットワーク“HIROIN”の全体像とそれへの接続の手法などまとめて特集を組みました。“HIROIN”利用のきっかけになればと思います。存分に活用していただき、より便利なネットワークへ育ててください。

広報「HIROIN」No.4の準備中、1994年6月24日に念願の総合情報処理センターへの改組が認められ、7月28日に同開所式が行われた。この夏には次期計算機システムの入札、年明けには新システムの稼働とあわただしいスケジュールが控えている。それ故、今回のNo.4が情報処理センターの最後の広報となりました。ISSN（国際標準逐次刊行物番号）への登録も済ませ、ようやく軌道にのった矢先です。読みやすく、役に立つ広報誌をと考えて、ここまでやってきましたが今回で委員も一部交代になります。 (川口)

弘前大学情報処理センター

教育広報専門委員会

川口 節 雄 (教養部、委員長)

作道 信 介 (人文学部)

力石 國 男 (理学部)

三上 聖 治 (医学部)